

近畿スマートエコ・ロジ協

# 次世代トラセミナーを開く

【近畿】近畿スマートエコ・ロジ協議会は13日、「スマートエコ・ロジ社会を担う次世代トラックセミナー」を開催した。

冒頭、大ト協の坂本克己会長は「我々の業界では、CNG車やハイブリット車などの導入ができるように日々事業運営をしている。今日のセミナーが次世代トラックの形を作る

ための大きな足跡になるように願っている」とあいさつした。



坂本会長

引き続き、京都大学大学院エネルギー化学研究科の塩路昌宏科長と越野運送の越野泰弘社長がそれぞれのテーマで講演。

越野運送 越野泰弘社長

## ミルクラン方式 仕組みなど紹介

.....  
なお、同セミナー開

催に先立ち総会が開かれ、平成27年度スマートエコ・ロジ協議会の事業計画案について審議し、すべての議案を原案通り承認した。

スマートエコ・ロジ社会を担う次世代トラックセミナーの第2部では、越野運送の越野泰弘社長が「環境をキーワードに安心・安全・信頼のブランドを築く！」をテーマに講演した。



越野社長

同社で取り組んでいる非効率な輸送形態を一元化した共同輸配送ミルクラン方式の仕組みを紹介し、「荷主様が発注の段階から製造、配送などの把握と制御ができるため効率化が可能になる。また、一元化した配送行程も荷主側が制御

できるので低コスト化も可能。結果として使用していた車両台数が軽減でき、CO2の削減にもつながる」と説明した。

越野社長は「環境は無視できないテーマ。うまく取り組み、土俵に引き出して経営ができれば」とし、今後の自社の考えとして「これからも品質を上げて、常に提案をできる流れを作っていきたい」と述べた。

(中村優希)